

2022年8月22日

ローム株式会社

今年是有観客で開催！豪華出演者による室内楽をお届けします。

ローム ミュージック フェスティバル2022 in TOKYO

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、「ローム ミュージック フェスティバル2022 in TOKYO」を開催いたします。

「ローム ミュージック フェスティバル」は、奨学援助等で支援した音楽家「ローム ミュージック フレンズ」が一堂に会す音楽祭で、音楽ファンの拡大を図ることを目的に2016年よりロームシアター京都にて開催しております。2021年からはより多くの方にクラシック音楽をお楽しみいただけるよう東京公演を開始いたしました。

2021年東京公演は無観客のオンライン配信となりましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたうえで有観客公演とし、引き続きクラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」でのオンライン配信も行います。

国際コンクールの優勝者など、国内外で活躍する豪華な演奏者が集い室内楽の演奏を披露します。本フェスティバルだからこそ実現できる豪華共演に加え、多くの皆様楽しんでいただけるよう贅沢なプログラムを用意しておりますので、ぜひお楽しみください。

<ローム ミュージック フェスティバル2022 in TOKYO 出演者>



■ フェスティバル概要



- 日 程 : 2022年10月1日(土)
- 会 場 : 紀尾井ホール(東京都千代田区紀尾井町6-5)
- オンライン : クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」内「ローム ミュージック チャンネル」にて配信
<https://curtaincall.media/rmf>
- 出 演 者 : ローム ミュージック フレンズ 18名
- 料 金 : S席/3,000円、A席/1500円、オンライン配信チケット/500円
- チケット販売 : 2022年8月22日(月) チケットぴあ 他にて販売開始
- 主 催 : 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
- 共 催 : ローム株式会社

過去の「ローム ミュージック フェスティバル」の様子

京都(2022)



(撮影:佐々木卓男)

東京(2021)



(撮影: Ayumi Kakamu)

■ コンサートの特徴 ～ローム ミュージック フェスティバルだからこそ実現できる魅力的なプログラム～

※詳細は添付リーフレットをご参照ください。

弦楽器、管楽器、鍵盤楽器のローム ミュージック フレンズによるバラエティ豊かなステージ

(曲目) ◆ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.81, B.155

◆グリーグ:組曲「ホルベアの時代より」Op.40

◆ピアソラ:「ブエノスアイレスの四季」

<リスト 春/小川、夏/周防、秋/黒川、冬/尾池>

<出演するローム ミュージック フレンズ>

★...奨学生、◆...音楽在外研究生、●...音楽セミナー受講生、◎...京都・国際音楽学生フェスティバル出演者、▲...小澤征爾音楽塾塾生

ピアノ	吉田友昭(★)
ヴァイオリン	植村 太郎(★▲)、小川 恭子(★)、尾池 亜美(★)、北川 千紗(★)、黒川 侑(★)、周防 亮介(★)、瀧村 依里(★)、谷口いづみ(◎)、中島 麻(★▲)
ヴィオラ	金本 洋子(●)、鈴木 るか(●)、田原 綾子(★)
チェロ	奥田 なな子(★)、上村 文乃(★)、佐藤 晴真(★)
コントラバス	高橋 洋太(▲)、松隈 崇宏(▲)

■ ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(4,732名:2022年8月現在)として、ともに音楽を届ける仲間となっていていただいています。

事業名	内容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに525名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー 2019年度からは宮田大・チェロクラスを実施し、現在までに8名が受講。
京都・国際音楽学生フェスティバル (1993年度～)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,635名が出演。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,422名が出演。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

■ ローム ミュージック フェスティバルのライブ配信及びアーカイブ配信(無料)について

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にてライブ配信いたします。

公演の翌日2022年10月2日(日)12:00～10月9日(日)23:59までアーカイブ配信でもご覧いただけます。

■ ローム ミュージック フェスティバル特設WEBサイトについて

ローム ミュージック フェスティバルの公演内容や、出演するローム ミュージック フレンズのフェスティバルに向けた意気込みを掲載予定であり、今後も情報を随時追加いたします。また、過去のフェスティバルのダイジェスト映像も公開しておりますのでぜひご覧ください。

<<https://micro.rohm.com/jp/rmf/activity/rmfes/>>



ローム ミュージック フェスティバル2022
ROHM
MUSIC
FESTIVAL
2022 in TOKYO

2022.10/1(日)17:00開演(16:00開場)
紀尾井ホール
全席指定 S席:3,000円 A席:1,500円
有料配信オンラインコンサートチケット 500円
主催:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
共催: **ローム株式会社**
公演内容に関するお問い合わせ:
株式会社1022 03-3264-0244 (平日10:00~18:00)
開催方法に関するお問い合わせ:
カーテンコール <https://curtaincall.media/contact>

過去のローム ミュージック フェスティバルはこちら >

以上

ローム ミュージック フェスティバル2022
ROHM
MUSIC
FESTIVAL
2022 in TOKYO

2022. 10/1 **土** 17:00開演
(16:00開場)

紀尾井ホール

- 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号
●四ツ谷駅 赤坂口・麴町口 (JR線・丸の内線・南北線) 徒歩6分
●麴町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
●赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分
●永田町駅 7番出口 (半蔵門線) 徒歩8分

全席指定 S席:3,000円 A席:1,500円
有料配信オンラインコンサートチケット 500円

公演チケットお取り扱い

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:211-785]

e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (PC・携帯・スマートフォン)

オンラインコンサートチケットお取り扱い カーテンコール <https://curtaincall.media> (購入方法についてはWEBサイトをご覧ください。)

有料配信のお知らせ

クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコールにて、
当日会場での公演開催と同時にライブ配信および、期間限
定のアーカイブ配信も実施します。



配信サイトはこちら

公演内容に関するお問い合わせ:株式会社1002 03-3264-0244 (平日11:00~18:00)
視聴方法に関するお問い合わせ:カーテンコール <https://curtaincall.media/contact>
主催:公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 共催: **ローム株式会社**

※本公演は新型コロナウイルス感染症対策を実施のうえ、開催いたします。
ご来場のお客様はロームミュージックフェスティバル特設WEBサイトをご確認いただき、ご来場ください。
※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。



植村 太郎 (ヴァイオリン) Taro Uemura
2007～2010年度奨学生
2004、2006年小澤征爾音楽塾 塾生
桐朋学園大学を首席卒業後、ドイツ国立ハノーファー音楽演劇大学、ジュネーヴ音楽院、ベルリン・ハンスアイスラー音楽大学大学院にて研鑽を積む。第74回日本音楽コンクール第1位。ソリストとして世界各地のオーケストラと共演。現在、東京藝術大学准教授、藝大フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスター、名古屋フィルハーモニー交響楽団客演コンサートマスター、愛知県立芸術大学非常勤講師を務める。



小川 恭子 (ヴァイオリン) Kyoko Ogawa
「フェノスアイレスの四季」《春》独奏
2017、2018年度奨学生
日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)、全部門で最も印象的な演奏に贈られる増沢賞他すべての副賞を受賞。ノヴォシビルスク国際コンクール、日本モーツァルト音楽コンクール各優勝、シュボア国際コンクール第2位等受賞多数。国内外のオーケストラと共演。桐朋学園大学を首席で卒業後、修士課程修了を経てウィーン国立音楽大学でローター・シュトラウス氏に師事。文京楽器の協力によりBear's International SocietyからG.Cappaを貸与されている。



黒川 侑 (ヴァイオリン) Yu Kurokawa
「フェノスアイレスの四季」《秋》独奏
2016、2017年度奨学生
第75回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)他3つの特別賞を受賞。スイス・ロマン管弦楽団をはじめ国内外の主要オーケストラと共演を重ねる他、リサイタル、室内楽でも好評を博している。青山音楽賞、出光音楽賞など受賞多数。「クラシック倶楽部」等メディア出演も多い。京都市立芸術大学非常勤講師。使用楽器は個人より貸与のAntonio Guarneri del Gesu(1742)。



瀧村 依里 (ヴァイオリン) Eri Takimura
2011、2012年度奨学生
東京藝術大学附属高校を経て同大学を首席卒業、同大学院修了後、ウィーン国立音楽大学大学院を修了。2005年第3回東京音楽コンクール第1位、2008年第77回日本音楽コンクール第1位など受賞多数。これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団など国内主要オーケストラと共演、各地でソロリサイタルを開催するほか、室内楽の分野でも積極的な演奏活動を行っている。現在、読売日本交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。平成25年度神戸市文化奨励賞、平成26年度坂井時忠音楽賞受賞。



中島 麻 (ヴァイオリン) Asa Nakajima
2005～2007年度奨学生
2002～2004、2008年小澤征爾音楽塾 塾生
現在イルミナートフィルハーモニーオーケストラ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア(元トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ)コンサートマスター。桐朋学園女子高等学校音楽科、同大学卒業。オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学修士課程を首席修了。2005年オーストリア・メニュエイン記念音楽財団賞1位をはじめ内外のコンクール受賞多数。



尾池 亜美 (ヴァイオリン) Ami Oike
「フェノスアイレスの四季」《冬》独奏
2011、2012年度奨学生
東京藝術大学卒業。ローザンヌ高等音楽院修士課程修了。RNCMマンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位他、受賞歴多数。欧州や中国等でリサイタルを開催、国内外のオーケストラやアンサンブルと共演。2020年度より東京藝術大学講師。



北川 千紗 (ヴァイオリン) Chisa Kitagawa
2017、2018年度奨学生
2020年第89回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)含む4つの特別賞を受賞。2021年スビヴァコフ国際ヴァイオリンコンクール(ロシア)第2位。このほか2009年より11の国際音楽コンクールとオーディションで優勝、グランプリを獲得。国内や欧州を中心に音楽活動を行いソリストとして多数のオーケストラと共演を重ねている。東京藝術大学附属音楽高等学校を経て同大学卒業。桐朋学園大学大学院修士課程を修了し現在同学園大学院大学在籍中。一般財団法人ITOHよりGuadagnini1779を貸与されている。



周防 亮介 (ヴァイオリン) Ryosuke Suho
「フェノスアイレスの四季」《夏》独奏
2014、2015年度奨学生
2016年ヴェニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクール入賞および審査員特別賞を受賞。2015年出光音楽賞を受賞。現在は江副記念リクルート財団奨学生としてメニュエイン国際音楽アカデミーにて研鑽を積む。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより貸与されている、1678年製ニコロ・アマティ。



谷口 いづみ (ヴァイオリン) Izumi Taniguchi
学生フェスティバル2006出演者
愛知県出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業。京都市立芸術大学音楽学部を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程を修了。国内の主要オーケストラに客演で出演するほか、ミュージカルのピット演奏も務める。そのほかにもさまざまなアーティストのレコーディング、ライブサポートなど、ジャンルレスに活動中。



金本 洋子 (ヴィオラ) Yoko Kanamoto
1996年度セミナー生
神戸女学院大学音楽学部卒業後、ヴィオラに転向し、京都市交響楽団に入団。ヴィオラを故西岡正臣氏・深井碩章氏に師事。渡独し、ロイス・ランツバルク氏(バンベルク交響楽団ソロ首席)のもとで研鑽を積む。オーケストラに所属しながら、積極的に室内楽やソロのコンサートに取り組んでいる。弦楽出世魚Yo-Yo-Ju→アンサンブル弦伍楼、アンサンブルヴィオラ、2x2弦楽四重奏団メンバー。アルテアチェンバーオーケストラ主宰、K'classic代表。京都・新京極誓願寺でVOWS concertを定期的に企画し、好評を得ている。



鈴木 るか (ヴィオラ) Ruka Suzuki
1993年度セミナー生
桐朋学園大学卒業後、2年間研究科へ進みヴィオラに転向。1992年よりセイジ・オザワ松本フェスティバルに出演。1995年カザルスホールにおけるヴィオラスペースの公開マスタークラスでキム・カシュカシャンに師事。2005年上野で開催された東京のオペラの森に、2010年NYカーネギーホール、2011年北京公演をそれぞれサイトウ・キネン・オーケストラメンバーとして出演。現在、フリーで活動。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団のゲストトップ、他多数オーケストラ、室内楽に出演中。



奥田 なな子 (チェロ) Nanako Okuda
2006～2009年度奨学生
東京藝術大学附属高校を卒業と同時に文化庁在外派遣員としてフライブルク音楽大学に留学。ベルリン芸術大学に移籍後ディプロマを最優秀で取得。同大学院ソリストコースにて研鑽を積み、国家演奏家資格を取得し帰国。第1回秋吉台音楽コンクール弦楽部門最高位。2006～2009年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。ソロから室内楽、オーケストラまで幅広い演奏活動を行なっている。



佐藤 晴真 (チェロ) Haruma Sato
2017、2018年度奨学生
2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝し、国際的に注目を集めた。2018年、第11回ヴォルト・ルトスワフスキ国際チェロコンクール第1位および特別賞を受賞など多数の受賞歴を誇る。既に国内外の著名なオーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博す。2021年11月には、名門ドイツ・グラモフォンよりセカンドアルバムをリリース。現在、ベルリン芸術大学在学中。



松隈 崇宏 (コントラバス) Takahiro Matsukuma
2011、2012年小澤征爾音楽塾 塾生
東京音楽大学卒業。ドイツにて文屋充徳氏のマスタークラスを受講。2010～12年、小澤征爾音楽塾のオペラプロジェクト等の各公演に参加。アフィニス夏の音楽祭2015、ローム ミュージック フェスティバル2017などの音楽祭に出演。これまでに、時津りか、永島義男、渡辺玲雄、ハイリッヒ・ブラウンの各氏に師事。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団フオアシューラー。また、コントラバスアンサンブルグループ「Bass Shock 1(仮)」のメンバーとしても活動中。



田原 綾子 (ヴィオラ) Ayako Tahara
2015、2016年度奨学生
東京音楽コンクール、ルーマニア国際音楽コンクール優勝。国内外でソロリサイタルが定期的に行われており、ソリストとして読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。室内楽奏者としても著名なアーティストと多数共演している。第23回ホテルオークラ音楽賞受賞。これまでに藤原浜雄、故岡田伸夫、ブルーノ・バスキエ、フアイト・ヘルテンシュタインの各氏に師事。サントリー芸術財団よりP.A.Testoreを貸与されている。



上村 文乃 (チェロ) Ayano Kamimura
2015、2017年度奨学生
東京音楽コンクール、日本音楽コンクール第2位、トレヴィーゾ市国際コンクール第1位など入賞歴多数。リサイタル、室内楽、オーケストラ共演や国内外の音楽祭へ参加の他、パッサ・コレギウム・ジャパンのメンバーとしても活躍中。モダン楽器にとどまらず、バリオド楽器を用いた演奏法にも取り組み、双方で活躍の場を広げている。2022年第23回ホテルオークラ音楽賞受賞。第2回インディアナポリス国際バロック・コンクール優勝。



高橋 洋太 (コントラバス) Yota Takahashi
2005、2006年小澤征爾音楽塾 塾生
桐朋学園大学卒業後、同研究科修了と同時に2006年東京都交響楽団に入団。2005年青森市民文化顕彰受賞。セイジ・オザワ松本フェスティバル、霧島国際音楽祭、東京・春・音楽祭はじめ各地の音楽祭に度々出演している。ソロ、室内楽の演奏のほか、雑誌「Tarzan」にて、音楽家としての身体のメンテナンスを紹介するなど、その活動は多岐に渡る。2022年自身初のソロアルバム「Histoire」をリリースし好評発売中。

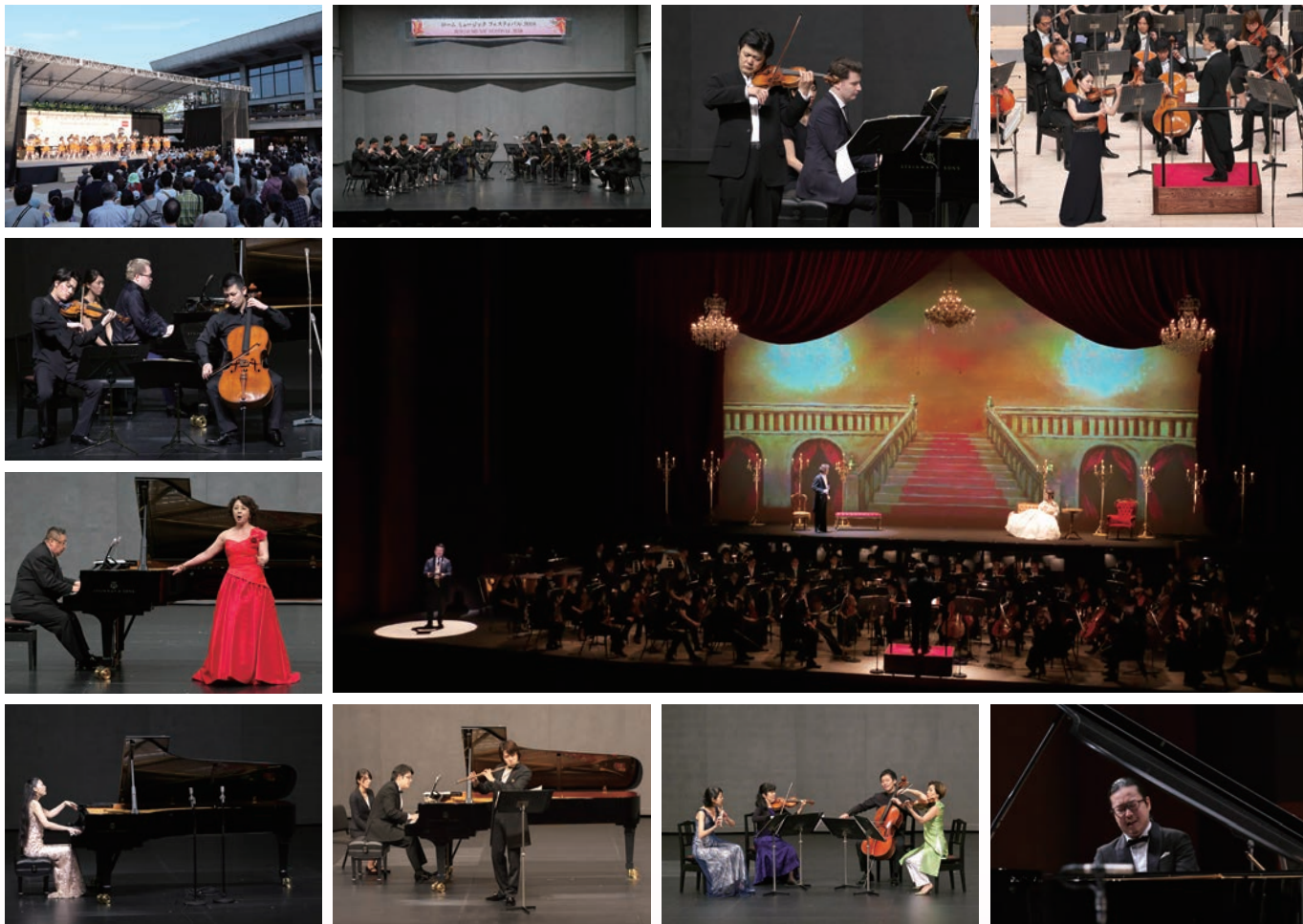


吉田 友昭 (ピアノ) Tomoaki Yoshida
2011～2013年度奨学生
東京藝術大学を経て20歳時にヨーロッパへ移住。パリ国立高等音楽院を一等賞の成績で卒業後、ローマ聖チェチーリア国立音楽院、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学を修了。日本音楽コンクール第1位他受賞。現在は東京音楽大学専任講師を務める。

【ローム ミュージック フレンズ】
奨学生
在外研究生・・・ローム ミュージック ファンデーション 音楽在外研究生
セミナー生・・・ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナー 受講生
学生フェスティバル出演者・・・京都・国際音楽学生フェスティバル出演者
小澤征爾音楽塾 塾生

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、 音楽を通して豊かな文化を作ることを目指しています。

ローム ミュージック ファンデーションは、音楽文化の普及と発展のためにさまざまな事業を実施しています。
そのなかでも、若い音楽家の学ぶ環境の充実には1991年の創立時より継続して取り組んでいます。
現在、支援してきた多くの方々が、プロの音楽家として世界を舞台に活躍しており、
その方々の成長に関わることができたことはローム ミュージック ファンデーションにとって大きな喜びです。
そしてその方々が「ローム ミュージック フレンズ」(4,732名:2022年8月現在)として、
毎年京都に集まり、多くの皆様にその演奏を聴いていただく公演がローム ミュージック フェスティバルです。
また、京都で生まれたこの音楽祭を東京でも開催しています。
ローム ミュージック フレンズによる多彩なコンサートをどうぞお楽しみください。



【過去のローム ミュージック フェスティバルより】 ©佐々木卓男 ©大澤正

ローム ミュージック フェスティバル特設WEBサイト

出演するローム ミュージック フレンズのフェスティバルに向けた意気込みも掲載予定。
また、過去のフェスティバルのダイジェスト映像もご覧いただけます。



Live streaming 有料配信のお知らせ

クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコールにて、当日会場での公演開催と同時にライブ配信および、期間限定のアーカイブ配信も実施します。

オンラインコンサート視聴方法 下記の方法でオンラインコンサートチケットをご購入のうえ視聴ください。

- ①「カーテンコール」で検索、またはQRコードから「カーテンコール」TOPページ (<https://curtaincall.media>) にアクセスし、右上にある「Sign」から会員登録。
 - ②会員登録完了後にログインしていただき、TOPページ、または「SCHEDULE」内にある日付欄から、公演日(10/1)をクリックして該当する公演ページにアクセス。ページ内の「ネットチケット購入」ボタンをクリックしてチケットをご購入ください。
決済方法はクレジットカード(Visa、Master、JCB、AMEX)のみのお取り扱いとなります。
 - ③開演時間になりましたらログインのうえ、該当する公演ページにてコンサートをご視聴ください。
- ※その他購入方法、視聴方法、視聴環境の詳細については「カーテンコール」のWEBサイト内にてご確認ください。

アーカイブ配信期間:2022年10月2日(日)12:00~10月9日(日)23:59まで



program

Dvořák

A.ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.81, B.155

植村 太郎/瀧村 依里 (ヴァイオリン)

田原 綾子 (ヴィオラ)

佐藤 晴真 (チェロ)

吉田 友昭 (ピアノ)

Grieg
Piazzolla

E.グリーグ:組曲「ホルベアの時代より」 Op.40

A.ピアソラ:ブエノスアイレスの四季

「ブエノスアイレスの四季」 ソリスト

「ブエノスアイレスの春」 独奏:小川 恭子 (ヴァイオリン)

「ブエノスアイレスの夏」 独奏:周防 亮介 (ヴァイオリン)

「ブエノスアイレスの秋」 独奏:黒川 侑 (ヴァイオリン)

「ブエノスアイレスの冬」 独奏:尾池 亜美 (ヴァイオリン)

コンサートマスター

植村 太郎 (ヴァイオリン)

合奏団

北川 千紗/瀧村 依里/谷口 いづみ/中島 麻 (ヴァイオリン)

金本 洋子/鈴木 るか/田原 綾子 (ヴィオラ)

奥田 なな子/上村 文乃/佐藤 晴真 (チェロ)

高橋 洋太/松隈 崇宏 (コントラバス)